



インフルエンザワクチン

10月1日(月)よりインフルエンザワクチンの接種を開始します。
 *9月10日(月)より予約開始となります。
 *生後6ヶ月以上13歳未満 ⇒ 2~4週あけて2回接種
 13歳以上 ⇒ 1回接種
 *卵アレルギーのあるお子さんで接種を希望される方はご相談ください。
 *接種料金は3,500円(消費税込)です。

☆おねがい☆

10月・11月の予防接種の時間帯はインフルエンザワクチンを受ける方で大変混み合います。そのため、接種時に風邪などの診察やお薬の処方、夜尿症や便秘症などのご相談には応じかねますのでご協力をお願い致します。(夜尿症・便秘症などのご相談は、火曜日・木曜日の午前中に予約をお取りください。)また、インフルエンザワクチンと他の予防接種の同時接種は行いません。(インフルエンザ以外のワクチン<ヒブと肺炎球菌と四種混合など>の同時接種は従来通り行います。)

2ヶ月になったら、予防接種を受けましょう!

ぜんそくのシーズンです

今年は、春から次々に台風が発生し、これまでになく不安定な気候になっています。喘息のお子さんは、台風の前後に発作を起こしやすくなるので注意が必要です。

これから朝晩の冷え込みが強くなる11月末まで喘息シーズンが続きます。夜中の冷え込みや喘息がひどい時は無理して登園・登校はせず、早めに診察を受けるようにしましょう。呼吸困難が強いときは、予約の時に伝えてください。

◇治療◇

現在、治療の主体となっているのは、ロイコトリエン受容体拮抗薬といわれるオノンやモンテルカストなどの内服薬と、パルミコート、フルタイド、アドエア(気管支拡張薬含む)等のステロイド吸入薬です。これらの吸入は、ステロイドの内服薬と違い、副作用の心配がほとんどありません。特に、パルミコート吸入は吸入器を用いて行うので、乳幼児など小さいお子さんでも治療が可能です。さらに発作時には気管支拡張薬(メブチン吸入液)を併用して、自宅で吸入を行うことができます。吸入療法をきちんと行うことで喘息の重症化を防ぎ、夜間、休日の救急受診を減らすことができます。しかしながら、吸入をしても呼吸困難が続き症状が改善しないときは、早めに医師の診察を受ける必要があります。どのような薬剤を組み合わせ、どのくらいの期間治療を行うかは、お子さんの年齢や症状により異なりますが、喘息について正しい知識を持ち、根気よく治療していくことが大切です。

おねがい

火曜、木曜の午後は健康外来(健診、予防接種)の時間になっております。診察を受ける方は午前中にお越しくださいようお願い致します。なお、急患の方は応需致しますのでご相談ください。

お知らせ

～ 乳児健診時の写真撮影について ～

最近乳児健診の際に、写真撮影を希望される方が増えています。診察風景の写真撮影はOKですので、遠慮なくお申し出ください。お子さまの成長記録の1ページにどうぞ!!!



New Face

5月からこちらで勤務させていただきます、柿崎と申します。小児科での勤務は初めてなのですが、毎日沢山の子どもたちを見て、癒されています!これからどうぞよろしくお願い致します。



月	火	水	木	金	土	日
9月の予定					1 Dr.藤原	2 休診
					(A)	(C) (東京)
3 午前:院長 貴田岡副院長 午後:貴田岡副院長 (予防接種なし) (A)	4 院長 貴田岡副院長 午後:健康外来 (A)	5 午前 院長 午後 Dr.及川 (A)	6 院長 貴田岡副院長 午前:ぜんそくアトピー外来 (10:45-11:45) 午後:健康外来 (A)	7 院長 (A)	8 Dr.植松 (A)	9 休診
10 院長 貴田岡副院長 (A)	11 院長 貴田岡副院長 午後:健康外来 (C)	12 午前 院長 午後 Dr.相原 (A)	13 院長 貴田岡副院長 午前:ぜんそくアトピー外来 (10:45-11:45) 午後:健康外来 (A)	14 院長 (A)	15 Dr.蛇川 (A)	16 休診
17 敬老の日 休診	18 院長 貴田岡副院長 (C)	19 午前 院長 午後 Dr.高橋 (A)	20 院長 貴田岡副院長 午前:ぜんそくアトピー外来 (10:45-11:45) 午後:健康外来 (A)	21 院長	22 Dr.藤原	23 休診
24 休診	25 院長 貴田岡副院長 (A)	26 午前 院長 午後 Dr.内田 (A)	27 院長 貴田岡副院長 午前:ぜんそくアトピー外来 (10:45-11:45) 午後:健康外来 (A)	28 院長 (A)	29 Dr.植松	30 休診 (A) (東京)

◎院長の診療後の予定◎
 (A):医師会の会合 (B):小児科関係の会合
 (C):その他